

まほろば 自然農園だより

宮下 洋子
Hiroko Miyashita

南瓜の収穫を手伝う本店小原君とベーカリー宮本君

今シーズンを振り返って

仁木町に就農して2年目、今年こそはと思っていたのに、思うに任せないことが多く、あっという間に季節は通り過ぎてしまいました。土づくりがまだまだ出来ていないし、管理も不十分で、自信をもっておすすめ出来る作物が作れなかったのが残念です。

今年の成果としては、

トマトハウスを2棟建てました。

去年はハウスがなく、新天地に初めて作った

露地トマトは、水や肥料のコントロールも難しく、管理もままならず、美味しくなくて、収穫期間も短くなりました。

今年は、ハウスが出来たけれど、春一番に、50メートルと30メートルのハウスを移築するのに手



間取ったのと、私も札幌の小別沢で6月の初めまで苗作りをしていたので、農園全体の管理などが遅れておろそかになりました。

初めて建てたハウスの土づくりが十分に出来ないうまま、間に合わないので定植したのですが、なかなかトマトの味が出ないで苦労しました。途中から、主人が0-1テストで肥料設計に情熱を燃やしてくれ、追肥に追肥を重ね、中玉トマトやミニトマト、かぼちゃなどが美味しく出来てお客様にも好評でした。

しかし、収穫に追われて、管理し切れなかった野菜も多く、来年の課題となりました。

水源が確保 できました

汚染のない灌水を十全に出来る為の水量を確保できる深い井戸と、その水を畑

全体に届けることが出来るパワフルなモーターと、冬の雪や春の雪解け水にも漏電しないモーター小屋を設置出来た事です。

野菜農家にとって、必要な時に必要な水量を確保できることは、とても大切なことで、私は苗（種）半作、水半作だと思っています。どんなにいい肥料をバランスよくあげても、水が無いと作物は肥料を吸収できないからです。また水は pH 7 で還元電位も低いので、暑い時の紫外線の酸化を和らげ、アルカリ性のミネラルも溶かしてくれて、一層夏の暑さを乗り切りやすくしてくれます。

去年と今年の前半は、灌水設備が不備で、なかなか思うようにいきませんでした。でも、来年からは、作物がうまく出来ないからといって、水のせいにはできません。井戸の神様に感謝しながら上手に使わせて戴くつもりです。水質検査の結果は、飲料水としても優秀で、さらにエリクサーも通したいと主人は意欲的です。

果樹を植えました

少しずつ、リンゴ（5本）とサクランボ（1本）、栗（10本）、クルミの苗木（2本）を植えました。サクランボは夏の慰安会に参加してくれた子供たちがみんなで植えてくれました。栗とクルミは手間がかからないようですが、リンゴとサクランボはどんなものでしょうか？

リンゴとサクランボは、苗木から植えたのでは、無農薬は難しいと思い、長年無農薬のサクランボ（仁木の自宅に元々植えてあった放任栽培のもの）と、まほろばで販売していた無農薬のリンゴの種を取ってある



ので、来年植えてみる予定です。気の長い話です。

新しい所の開墾と 土壌改良

これは時間をかけて、ゆっくりやっていくしかありません。去年作ったところは、少し土が良くなって、だんだんに良い作物が取れるようになってきています。しかし、まだまだ一回も作ったことのない未開墾地も多く、前途多難ではあります。とは言え、来年は、仁木で苗作りが出来るし、灌水設備も最初から設置できるので、少しずつ品質の向上が期待できると思います。

秋大根が上手に出来ませんでした

秋大根を植えたところは耕土が30センチほどしかなく、その下は石だらけで、高温障害で芯が空洞になる大根が多くなりました。砂利の多い傾斜地に植えたので、水はけが良過ぎて高温障害を受けやすくなったのだと思います。

それでも7月ごろまでに堆肥やヌカを入れて、ある程度の土づくりが出来ていれば、もう少し良かったのかもしれませんが、その余裕がなく、初めての所にいきなり植えたので、無理があったようです。

別の傾斜地に植えた春大根も初めての場所だったのですが、気温が低い時期という事もあって何でもありませんでした。秋大根は、7/25日と、8/13日という暑い盛りに、耕土が浅い傾斜地に植えたので、乾燥と高温が重なったのだと思います。後から（8/13日）植えて、間違えて密植になった所の方が、穴あき大根が少なかったようです。



軟腐病も輪黒大根もなし

ところが、軟腐病の発生や、輪黒大根などの生理障害は一切とっていないほどありませんでした。種まきの時、間違えて60センチ畝間の所を30センチ間隔で植えてしまって、倍も密植で風通しが悪かった所もあったのに、軟腐病が出なかったのは奇跡的でした。よほど水はけが良かったのだと思います。

それでも、味が良かったのは救いでしたが、あまり売れなかったので、畑に1000本位残ったまま雪の下になってしまいました。もったいないけど仕方ありません。来年はいろいろ工夫して植えてみたいと思っています。

混雑（交雑）した白菜

白菜は自家採種に失敗して、今年はひどい状態になりました。巻かない白菜（小さい時から見ただけで分かる）や、水菜の原種のようなものまであって、3分の2くらいが白菜にならないものでした。近くに小松菜や水菜の菜花があったので混雑してしまったのかもしれませんが。菜花を取り終わったら、花が咲かいうちに種用の白菜菜花だけ残して、白菜以外の菜花を刈り取ってしまう予定だったのですが、それが遅れてしまったのです。もしかしたら、混雑したかも？と思っていたのですが、案の定でした。

でも、これは偶然良かったのかも知れません。雑種強勢で強くなったので、これから、巻いた白菜の種だけを取って、何代かそれを続けていけば、だんだん巻く白菜が増えて行って、しかも丈夫で味も良くなるのでは・・・と期待できます。気の



長い話です。

プラス思考ですね～～！

無肥料トマトその後

今年の春、川合さんから無肥料トマトの苗をもらいました。アロイトマトとゼブラトマト、ビーフステーキの3種類でした。川合さんは、畑の土と炭だけ入れて苗を作っていました。まほろば農園の育苗用土も、畑の土と活性炭と草木灰（カリウム主体のミネラル）くらいしか入っていませんでしたが、それでも川合さんのよりは大きく育っていました。草木灰だけでチツソ肥料を入れていないのにこんなに違うのかと驚きです。ミネラルが求肥力を高めているようです。その後、まほろば農園の苗には、定植1週間ぐらい前に、天然のマグネシウム（マグネシウム主体のミネラル = 陸王）をポットの根元にかかけました。



老化苗で定植

仁木農園の出来たてのハウスに、他のトマトと同じように、草木灰だけ入れて、定植しました。川合さんの苗は少し遅れてもらってきたので、アロイトマトはもう小さい実がついていました。それだけでなく折れそうなくらい小さい苗なのに、実の方にばかり栄養が行って大きくなれないのではないかと心配したのですが、そのままにしてみました。

追肥で激変

ゼブラトマト、どのトマトも最初はずいぶん苦戦していましたが、追肥をしたところからどんどん普通に育って、特にゼブラトマトは見事に綺麗な実をつけて、木もどんどん大きくなって、11月18日にハウスの畑じまいをする頃には、加温もしてないのに、まだまだ元気で、ハウスの天井に這うように伸びて、実をいっぱいつけていました。

これは、最初、草木灰も使わない苗だから良かったのか、若苗だったから良かったのか、追肥が良かったのか、比較する実験が何通りも出来なかったもので、今となっては解りません。

ただし、味が今一つなので、絵になるようなきれいな模様のトマトですが、お客様の受けも悪く、来年からは作らないことにしました。これは、肥料の問題ではなく、品種の問題だと思えるからです。

ビーフステーキは、熟すと酸味が強く、味が濃くて美味しいのですが、美味しくなったころには、実が柔らかくなりすぎて、形も悪く、販売向きではありませんでした。今年はほとんど出荷できませんでした。自家用にばかりしかならなかったため、ビーフステーキも来年は止めることにし



ました。これも品種の問題のようです。

アロイトマトは、老化苗だったせいもあり、最終的に、他のトマトの2分の1くらいの背丈で、収量は5分の1くらいでしたが、健康的に成長し、味も他のトマトと同じようで、多少、味が薄いかなどという感じでした。

全体的に、無肥料の苗は若苗で植えた方が、実がなるまでに根がしっかり張って求肥力が強くなり、挽回が早かったようです。

まほろば農園の苗は、逆に、ミネラルしかあげていないのに、前年のジャガイモやキュウリの追肥の残肥が残っていて、大玉トマトの方の木が初期の頃、暴れ気味で、ある程度、実が付くまで落ち着きませんでした。

毎年、トマトを植える前に、窒素の要求量の大きい青菜類を、ミネラルだけ入れて作り、窒素肥料を吸収させた後に、トマトを定植していましたが、今年は、ハウスを建てるのが精いっぱい、青菜を植えられませんでした。ところが、無肥料の苗は、それの方が良かったようで、いきなりの濃い栄養にも暴れもせず、どんどん吸収して、遅れを取り戻し、健康的に育ってくれました。

色々勉強になることの多かった比較実験でした。

今年一年を振り返って

とにかく、上手に出来たものもそうでないものも、色々あったけれど、トータルにみて、種類多く作り過ぎて手が回らなくて、結局、中途半端になったものも多かったため、来年はもっと作るものを絞り込んでいく必要があります。

と、毎年シーズンの終わりにはそう思うのです



が・・・主人は、今から来年には何を作ろうかと、あれこれ夢を膨らませています。

危ない危ない！！

多勢の人に助けられた一年

仁木農園に、多くの方々から援農ボランティアを頂きました。見学を兼ねて畑でお手伝いして頂いた体験が、よりまほろばを理解して頂くよすがとなれば嬉しい限りです。本当に有難うございました。

また、まほろば従業員にとっても、実際、畑に入って労働することで、より店での仕事が理解でき、より野菜に愛情が持てるようになり、よりお客様に心を込めて説明できるようになればいいなと思います。また、研修スタッフが農園に来ている間、懸命に店を支えて働いて下さったまほろば従業員の皆さんにも、心より御礼申し上げたいと思います。

それでは、皆様良いお年をお迎えくださいませ。



かわいふあ～む

川合 浩平



皆様、2017年ありがとうございました！！！！

さて、2017年もそろそろ終わろうとしています。皆様いかがお過ごしでしょうか？

年の瀬ということもあり、年賀状がまだだったり、大掃除がまだだったり今年中に終わらせなければならないことがまだだったりしてませんか？まあ、全て自分に当てはまり、こんな時期に焦りまくります。

早く終わらせて、年の瀬のんびりモードにしたい所ですが・・・笑

今年は去年以上にヤバい一年となりました。

そしてまあ、後で触れますが、来年からが本当に恐ろしい1年の始まりです・・・(´；ω；`)

まず、今年は本当に時間がない一年となりました・・・

シーズン中は本当に休みがなかったので曜日感覚がなくなり、より一層忙しいだけのメリハリがない時間が長く続いた印象です。

その間に暖かくなり、暑くなり、寒くなり、雪が積もり今に至り、あ～～～～・・・という間にもう師走という感想です。

今年はかわいふあ～むとしての2年目でしたが、なかなか不甲斐ない成績を残しつつも五天山公園でのマルシェも出来て、実りある一年となりました。

しかし反省点はいくらでも出てきます。
まず、ふがいないのは畑が回らなかったことです。
序盤から少しですが配達などもあり作業が遅れがちでした。
それが重なり作業の遅れに焦りが出てしまい余裕がかなり無くなりました。
やはり去年の広さならまだなんとかできたのですが、広がったことで一気に作業量が増えました。
やらなきゃいけない事ばかりある中で、優先順位をつけても手が付けられなかったり、作業タイミングを逃すことが増えていきました。
こうなると効率の悪い作業が増え、悪循環のスパイラルに落ち込みます。
草取りが間に合わず、定植したのにも関わらず草に埋もれてダメになった作物が何種類もあります。
身体の疲れも夏くらいにピークになり、身体が重たく、一度座ると立つ気力が出てこない時期もありました。
そんなこんなでマルシェの為に時間をあまり割けず、心の底から楽しむ事がイマイチできませんでした。



そして疲れも顔に出ていたので、途中からは「もっと先を見よう！」と気持ちを切り替える様にしました。

途中からは自分の中でそう思って目の前の事を淡々とこなすようになました。

やることだらけで、あれもこれもとなって焦りしか出てこない時期もありました。

.....

いやいやいやいや、なんぼでも書けるし暗すぎるわ〜笑

話題変えますッ！

そして今年も感謝の年でした。

シーズン全般を通して、本当に助けて頂いたのが、ボランティアの方々でした。

1〜2回来てくれた方を含めると30名近くの方々に草取りや収穫や管理や色々なところで助けて頂きました。

本当に頭が上がりません。

例えば大豆ですが、足踏脱穀機という機械を借りたのですが、この脱穀作業がこれまた大変でした。足踏み脱穀機というのは、足で踏んで脱穀機を動かしながら脱穀していくものなので、時間がかかります。

脱穀も時間がかかるのですが、さらにトーミという機械にかけてゴミを飛ばさないといけないのですが、トーミがないので手作業でした。

今年は雪が早く、雪が積もる前の作業もかなり残っていたので、それもやりつつ除雪しつつだったので、自分は脱穀もあまり手を付けられなかったのです。

結局半分以上はボランティアさんにやって頂いてます。

そして草取りなどは、かなりボランティアさんにおまかせばかりでした。

.....



いやいや、仕事してませんアピールになってるわ
～笑

しかし、いい実績もたくさんありました。
マルシェだったり、飲食店さんや個人のお客さん
に野菜を配達できたり、色々な人の前で話す機会
を頂いたり、活動の幅は少しずつ広がっています。
この流れは来年も継続していきたいと思っています。

しかし、本当に今年は時間が経つのが早かった・・・
今年の出だしでよく使っていた、「もう〇月です
よ?」というフレーズ。

本心だったのですが、使い過ぎまし
たね～笑

歳を取るという事は恐ろしいもの
で、本当に時間が早いです。
ちなみに、話はそれますが、なぜ歳
を取るのが年齢と共に早くなってい
くかを以前ちょっと、なぜ?と考え
たことがありました。

子供の頃は毎日が発見と予想のつか
ない新しい体験のドキドキワクワク
が連続で、常に脳に新しい経験が刻
まれていきます。

歳を重ねるととともに、ドキドキし
たり、ビックリするほどの新しい経
験が相対的に減っていき、自身の経
験則から起きる事の大半に予測がた
ちアクシデントに対処する能力を身



につけます。

持論ですが歳を取るとルーティンや経
験が多くなることで感情に驚きや新鮮
さが失われることになり、そのことが
時間を加速させるのではないかと思っ
ています。

自分の知っているいい年の取り方をし
ている人は、生き方の姿勢が前向きで
色々活動していたり、多方面に興味を
持っていたりと生き生きとしています。

自分も新しい事を始めたり、知識を取
り入れるようにしているのですが、やはりやはり
子供の様な毎日ドキドキワクワクな体験はできま
せん。

実際、子供の時はあがり症だった人も、やがて時
を重ねていくと、人前で話すことが苦じゃ無く
なっていく場合も多いと思います。

これは大人の社会で生きていくにはとても大切な
事ですが、見方を変えると心の変化が乏しくなっ
てきているとも取れるので、心が鈍感になってき
ているのかなあ、とも考えたりします。

そう思うと、子供達と遊んでいるときのワーワー
キャッキヤ言っているあの顔を見ていると羨まし
くなります。

あんなに今という時間を
一つの事に集中して、身
体と心をフルに使って一
生懸命楽しめるってすご
いなと。

大人になると、あんなに
素直に遊べなくなります
よね。

なので、来年は刺激的に
色々やってみて、不審に思
われない程度に子供たち
のあの顔で畑で遊びたい
と思っています。

という事で、2018年の抱
負ですが、ざっくりです
が色々やっていきます！

- ・直売所の開設
- ・野菜の宅配（中央区・西区限定）
- ・イベント開催
- ・マルシェ（未定）等々

とりあえずイベントで一つ考えているのは、畑で出会いの場の提供なんかをやってみたいです。色々聞いていると出会いを探している方などは、初対面で1対1で話すのは苦手な方も多いそうなのです。

東京の方では、散歩しながらの出会いの場もあるらしいのです。作業をしながらだと、面と向かってじゃ



ないので緊張せず話せる気がしますし、話題はいくらでも目に付くところに落ちています。作業に取り組む姿勢とか、周りの人との共同作業の仕方から性格が見えると思うので、なおさら面白いと思うのです。

もちろん、これを読んで面白そうだと思って参加したい方いらっしゃいましたら、随時ご連絡頂ければと思います。

直感ですが、畑で何かをやるのは結構面白いはずなんです！

そのままお昼は畑で焼き肉とかも面白いし・・・

まだ詳しくは決まっていないのですが、こんな感じで2018年は「楽しむ」年にします！今年みたいに時間が早く過ぎていくのではなく、色々な人達とドキドキワクワクをしながらのあっという間の1年に出来たらなあと思っています。



と言っても、来年からは今年育苗をやってくれた宮下顧問もいないので全部1人・・・

現実的には1人で育苗をしたりするので、今年以上に春先から時間がなくなるのです。

足りない資材をアレコレ買って、色々な準備をアレコレやって・・・

除雪して、ハウスのビニール張って、雪溶かして、育苗する場所を作って、種まいて、温度管理して、また種まいて・・・

うわー、ほんとに一人で出来るのかなーおそろしすぎるー（*´Д`）=3ハア・・・

という事で、これを読んでおられるアナタ！

来年は春先から畑でお待ちしておりますのでご遠慮なく（`ω´）キリッ 笑

最後になりましたが、2017年も「かわいふあ〜む」の野菜達を買い支えて頂いてありがとうございました。

この場を借りて御礼申し上げます。

来年も美味しい野菜を提供できるよう、頑張りたいと思っております。

2018年も「かわいふあ〜む」を宜しくお願い致します！

皆様にとって2018年が良き1年になることをお祈り申し上げます。

かわいふあ〜む 川合